

## 平成23年度 府立茨木支援学校 経営計画

### 1 めざす学校像

- 1 児童生徒に対して
  - ① 児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、一人ひとりが社会の一員として生きがいを持ち、積極的に社会に参画する意欲と態度を養う学校
  - ② 安全で安心して過ごせる学校
  - ③ 一人ひとりに適した卒業後の進路先を保障できる学校
- 2 保護者、地域・社会に対して
  - ① 学校の指導方針に対する取り組みがよくわかる学校
  - ② 特別支援教育のセンター校としての機能を発揮し、地域から期待される学校
- 3 教職員に対して
  - ① 研修・研究を大切にし、専門性を高めるために互いに協力しあうことのできる学校
  - ② 一人ひとりが教職員としての自覚と誇りを持ち、責任を分担しあい、健康で働くことのできる学校

### 2 中期的目標 3年間を見据えて何にどう取り組むのか

- 1 児童生徒に対して
  - ① 児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、一人ひとりが社会の一員として生きがいを持ち、積極的に社会に参画する意欲と態度を養う学校
    - \* 個別の指導計画と個別の教育支援計画が有効に活用できるようにする。
    - \* 個々の能力を最大限に伸ばすために教育課程と指導体制及び校内体制を検証し見直す。
    - \* 発達障がいについての専門性の向上をはかる。
    - \* 相談支援部・研究部・進路指導部と連携を取りながら校内支援を充実させる。
  - ② 安全で安心して過ごせる学校
    - \* 不用意・不注意な事故ゼロを目指しヒヤリハットの構築と共有化を図り、具体的な改善策を検討していく。
  - ③ 一人ひとりに適した卒業後の進路先を保障できる学校
    - \* 情報コースの教育課程およびシラバスを検証し見直す。(就労・自立に向けた取り組み)
    - \* 医療的ケアのある生徒の進路先を開拓する。
    - \* キャリア教育を検討する。(小中高一貫した指導)
- 2 保護者、地域・社会に対して
  - ① 学校の指導方針に対する取り組みがよくわかる学校
    - \* 学校情報の継続的な公開と体制づくりを行う。
  - ② 特別支援教育のセンター校としての機能を発揮し、地域から期待される学校
    - \* 地域の学校への積極的な支援と連携を行う。
- 3 教職員に対して
  - ① 研修・研究を大切にし、専門性を高めるために互いに協力しあうことのできる学校
    - \* 研究授業、公開授業の積極的な実施により専門性の向上を図る。
  - ② 一人ひとりが教職員としての自覚と誇りを持ち、責任を分担しあい、健康で働くことのできる学校
    - \* 行事の精選、会議の見直しに向けた取り組みを行う。
    - \* 校内イントラネットの活用により情報の共有化と会議のスリム化を図る。

### 3 本年度の重点目標：児童生徒、保護者、地域・社会に信頼される取り組みと情報公開

	目標	取組計画
取組み①	<p>1 児童生徒に対して</p> <p>①個別の指導計画および個別の教育支援計画を活用し、個に応じた教育を推進する。</p> <p>②教育課程と指導体制の見直し（キャリア教育・自立活動も含む）</p> <p>③就労・自立に向けた取り組み</p>	<p>* 個別の指導計画と個別の教育支援計画がいかに活用されているのかを検証し、課題をピックアップし課題を解決するための検討を行う。</p> <p>・活用に向けた各学部および全校的な検証を行う。</p> <p>・問題点の整理（学部・全体）、問題解決に向けた取り組みを行う。</p> <p>・教員・保護者の共通理解の方策を検討する。（マニュアル等の作成）</p> <p>* 自立活動の体制について検証し、問題解決のための検討を行う。</p> <p>* 各学部の教育課程・指導体制の検証（新学習指導要領に対応して）と課題の整理を行う。</p> <p>・小学部は下校時間の検証と課題の整理をする。</p> <p>* 高等部：情報コースの教育課程・シラバスの検証と課題を整理し課題解決のための方向性を出す。</p> <p>* キャリア教育の検討を行う。（進路指導部と一貫教育検討会が中心）</p> <p>* 就労・自立に向けた取り組みの検証と見直しを行う。</p> <p>・挨拶の徹底、体力の向上、マナーの向上、社会性の向上 就労意欲の向上を図る。（HR・各教科領域・自立活動での指導の内容と方法の検証及び課題の整理）</p> <p>・健康の保持増進のための取り組みを行う。（看護師体制の検証、健康の保持増進のための指導体制・指導内容の検証と課題の整理）</p>
取組み②	<p>2 保護者、地域・社会に対して</p> <p>①学校情報の継続的な公開と体制づくり</p> <p>②地域の学校への支援・校内支援等の充実</p>	<p>* HPのタイムリーな更新と活用を行う。</p> <p>・学校経営計画や学校評価を公表する。</p> <p>・学校改善の取り組みを公表する。</p> <p>・教育活動の様子（行事・授業場面・校外活動等）を公開する。</p> <p>* 継続的に公開するための体制づくりを検討する。</p> <p>・組織的な体制づくりを行う。（情報教育部と各部署の連携強化）</p> <p>* 地域の学校等への支援を充実させる。</p> <p>・地域の学校との連携を充実させる。（地域の小中学校、高等学校）</p> <p>・学校の支援体制の整備を行う。（体制づくり、教職員の共通理解）</p> <p>・公開授業等を充実させる。</p> <p>* 校内支援のための体制の整備を行う。</p> <p>・相談支援部・研究部・進路指導部が中心となった体制づくりを行う。</p>
取組み③	<p>3 教職員に対して</p> <p>①授業力向上・人材育成につながる研究授業・公開授業の積極的な実施</p> <p>②行事の精選に向けた取り組み</p>	<p>* 年間計画に基づいた研究授業・公開授業を実施する。</p> <p>・全学部とも研究授業を行うための検討を行う。</p> <p>・指導教諭による公開授業を行う。</p> <p>・初任者への指導を充実させる。（首席・指導教諭・教科指導教諭・部主事等が学校運営及び授業について指導を行う）</p> <p>* 行事の精選に向けた検討を行う。（各学部・運営委員会で検討）</p> <p>・関係する部署で学校行事、学部行事、学年行事の検証と課題の整理を行う。</p>